

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターヒツジ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日		～ 2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	受容的交流理論に基づき、袖ヶ浦市を中心に君津保健福祉圏域および市原市在住の発達に気になる未就学児童に対し、集団生活の中で必要な基本的生活習慣が身につけられるようになり家庭以外で、安心・安全な場所で「人間関係と自我を育てる療育実践」を行っている。	・利用者の行動特徴や発達の段階に応じてグループ編成を行いそれぞれの状態に応じた支援を行っている。 ・保護者との個別面談を通し、子どもの状態(園での様子)や発達段階、障害特性等の共通認識を確認し合い、子育てに自信や見通しが持てるように必要な情報提供を行った。	通所と入所が一体となって事業の運営を行ってきた。のびろ学園に入所している児童が低年齢化していることや緊急一時で保護された未就学児童に対して児童発達支援センターにて療育を受ける機会を提供した。
2	専門的な療育体制の構築を目指し、言語聴覚士や臨床心理士を配置し療育支援の向上を目指している。	多様化した家族の状況やニーズを把握し、きめ細かい対応に努めている。 ・保育園や他機関を利用している児童については関係者会議に参加し情報共有に努めた。	保護者からの相談内容を踏まえ適切な支援を行うため、個別支援計画を作成し、保護者に対応の仕方等、アドバイスをしたり、連絡帳でのやり取りを実施した。また、今年度は感染症などの理由で中止していた個別面談・親子行事が再開された。
3	地域療育支援室バンダでは、千葉県障害児等療育支援事業の契約及び袖ヶ浦市・君津市・富津市と療育支援事業の契約を行い事業を実施している。	・袖ヶ浦市や木更津市の保育所などの巡回訪問を積極的に行い、発達が気になる幼児への対応の仕方等アドバイスをを行った。 ・就学前に適切なサポートが実施できるよう袖ヶ浦市の要請を受け年長児童を対象に言語聴覚士による言語の発達検査を実施した。	袖ヶ浦市については嬉泉福祉交流センター敷地内に療育室を設置し地域の未就学児童に言語・心理・運動等の専門的療育を実施した。また、依頼に基づき、近隣の保育所へ施設指導支援を実施した。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の場所が、袖ヶ浦市の郊外にあり、公共交通機関が利用できず、送迎バスや送迎用自家用車が必要なことと、運転手の確保も課題となっている。	療育支援を行うスタッフの確保が、年々厳しくなってきている。必要な人材(支援者、保育士、運転手等)の安定的確保が急務。	近年、法人のホームページなどを活用し、事業所の広報活動、リクルート活動等を積極的に行っている。
2	事業所の建物が、別目的で建てられた既存の建物をリフォームして利用しているため、保育環境としては不都合な箇所がいくつかある。	建物の建て替えを計画的に進めていくと同時に、必要な財源の確保が必要。	10年先を見越した中期計画を策定中。
3	インクルージョンの推進に関しては、他事業所や地域との交流の機会が少ない。	学校や幼稚園、保育所との連携はあるが、地域の他の児童発達支援事業所や放課後等デイサービスとの交流の機会はない。	関係のある行政や、学校、幼稚園等の教育機関、その他療育機関等との連携を深め、情報共有を図り、個々の利用者に最適な支援を提供できるよう協力体制を構築していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターヒツジ

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 32

回収数 26

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1	0	3	・普段の様子を直接見られないのでわからない。 どんな様子で過ごしているか見てみたい。 ・きれいに整理整頓され、メリハリついていると思う。	親子レク、夏祭りなど保護者参加の行事を催している。通常は、保護者見学等は、他の利用者の刺激になるリスクが高いことから、控えさせていただいている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	7	安心できる人数です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	6	園内の様子は見たことがないのでわからない。	利用契約前に見学していただいている。 室内活動の写真などで、公開している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	4	明るいつゆ気味で、きれいです。	毎日、アルコール消毒や、次亜塩素酸ナトリウム希釈消毒液等で、清掃を実施している。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	2	STや個別指導の時間を設けていただき大変ありがたい。	個別面談を実施し、生活の様子、支援内容等については、詳しく説明を行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	2	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	1	1	家族支援をもっとしっかりやってほしい。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	3	0	0		保護者からのニーズとお子さんにとって必要な発達支援を保護者の同意のもとに実施している。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	3	0	4	入所後間もないためわからない	お子さんが見通しを持って楽しく参加できるようにプログラムを用意しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	3	9		今後、機会があれば検討していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	1		利用契約時に重要事項についての説明を行っており、ご不明な点等は、随時、回答している。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	4	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	3	8	・強化してほしい ・レクリエーションなど観が参加できる機会がある。 ・ペアレントトレーニング研修があればぜひ参加したい。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	3	1	0		毎日の連絡帳を通じ、保護者と情報共有できていると思う。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	1	0	4月入園以来、面談がありません。連絡帳でしか様子を知ることができず、相談したくてもできません。	年度の後期に、個別の面談を順次実施。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	6	1	7	・入所後間もないためわからない ・兄弟向けのイベントがあればぜひ参加したい。 ・今年度から、保護者会が開催されるこのことで、取組は評価したい。	本年度より、保護者会を開催している。 兄弟支援については、今後の検討課題としたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	4		日常、保護者との間で取り交わしている連絡帳にて、情報共有をしているが、個別の相談等については、適宜、対応していく用意はある。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	3	0	0	・うちの子は話ができないが、質問に手にタッチして答えてくれる。	一人一人の発達に合わせて、個別に対応している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	4	・SNSやWEBでの配信は存じません。 ・定期的な広報紙は楽しみにしている。 ・HPやSNS配信は知らない。 ・日々の連絡帳で発信できていると思う。	次年度より、新システムを導入予定。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	3	目には見えていないので回答できない	個人情報の取り扱いについては、毎年職員研修を実施しており、十分にできている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	0	3		職員間では、研修等で共有されているが、保護者には、必要に応じ、適宜、周知・説明を行っている。また、訓練も計画的に実施している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1	0	0		毎月、火災を想定した避難誘導訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	0	2		年度初めに、職員向けに、安全計画の周知、説明を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	3	このような状況になったことがなく回答できない。	マニュアル化されており、事故等が発生した場合には、適時、説明や、報告を行っている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	安心して、信頼してお願いできています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	0	・毎日とても楽しく通園しています。 ・朝、送迎の車が来ると嬉しそうに笑顔で登園しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	0	・先生と話す時間が限られているので、連絡帳でのやり取りをもう少し充実させたい。 ・とても満足している。 ・楽しいようで、笑顔です。	お子さん、保護者の方に満足していただけるよう努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターヒツジ
------	---------------

公表日 2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	広さは適切であるが、状況によっては手狭に感じられることはある。意識して、過ごしやすい環境の維持に努めている。	やや狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	7	教室の環境は、毎日のスケジュール等子どもに分かりやすいようにイラストにするなど配慮や工夫が行われている。	トイレの段差、廊下の幅員(狭い) トイレ、手洗い場のバリアフリー化が望まれる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1	清掃マニュアルに基づき、清掃を実施。また、子どもの年齢や状態に合わせ、空間を分けるなどの配慮も行っている。	毎日の掃除は徹底されているが、一部エアコンなどの掃除が行き届いてない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	利用者が感染症に罹患した時、また一時的にクールダウンが必要になったときなどに個室を利用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	3	個人的に取り組んでいる人(キャリアパス等で)はいるが、広く職員が参画しているかは不明。	パート勤務のため、積極的に参画できていない。具体的には、実施していない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	保護者、職員からの評価アンケートを実施し、集計結果を公表しており、職員間で共有している。	必要に応じ、運営会に提議し、検討していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	保護者、職員からの評価アンケートを実施し、集計結果を公表しており、職員間で共有している。	必要に応じ、運営会に提議し、検討していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3(1)		第三者評価は、実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	内部研修は、充実している。外部研修に、積極的に参加し、職員の資質の向上に努めている。	外部研修に積極的に参加し、職員の資質向上を図っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	支援プログラムを作成し、法人のホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	1	個々にアセスメント表を作成し、それに基づいた個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2	打合せで情報共有し、内容の確認及び検討を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2		職員間で共有されていない。ケース会などを開催するべき。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2		インフォーマルなアセスメントは、用意されていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	ガイドラインを基に、こどもの様子に合わせて課題や支援内容を決定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2(1)	利用状況を踏まえて職員間で話し、活動内容を決定している	リーダー、責任者で立案。チームでは行っていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	2(2)		特に取り組んでいない。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	5(1)		パートのため、打ち合わせには参加していません。打ち合わせという形ではないが、周知している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	7(1)	教室にある引継ぎファイルに、特記事項等を記入し、職員間で共有している。	毎日ではないが、必要がある時には話し合いを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	利用時の利用者の様子や、連絡ノートの保護者からの状態の引継ぎなど、日々記録を取り、振り返りを行っている	日々記録を基に、中間振り返りと年度末の振り返りへ繋げる
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	中間振り返りと年度末の振り返りを行い、計画の見直しを実施している	定期的な見直しを行い、支援の資質向上に努める
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	2	地域の事業所からの要請があれば、責任者クラスの職員が会議に参加している。	サービス担当者会議は、初回は参加するが、以後、継続的な会議は少ない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	必要に応じて情報共有、連携に努めている	引き続き、情報共有と連携に努める
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	個別に本人の発達状況やご家族の意向に沿い、他機関との併行利用の検討や実施に向けた準備など、情報共有を図るよう努めている。	引き続き、情報共有と連携に努める
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	本人にとって、また家族の意向も聞きながら、学校との情報共有や連携を図っている。	引き続き、情報共有と連携に努める
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	5	専門的な療育体制の構築を目指し、言語聴覚士や臨床心理士を配置し療育支援の向上を目指している。袖ヶ浦市、君津市、富津市と委託契約を結び、療育等支援事業を実施している。	袖ヶ浦市在住の年長児を対象に、言語検査を実施し、就学前に適切な療育が受けられるような体制の構築や相談会を実施している。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	2	積極的に参加している。	もっと広げてもよいと思う。機会があれば参加するが、あまり積極的とは言えない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	1	積極的に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1(10)		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	11	実施していない。	他事業所との交流はあまりないため、増やすとよいと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1(1)	連絡帳を通じ、情報共有に努めている。必要に応じて、個別に相談に応じている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	7(1)	研修としての家族支援プログラム等は実施していない。	ご家族からのニーズに応じて、検討していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	利用契約時に、個別に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	アンケートを実施し、個別にニーズの聞き取りを行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	年度初め、中間見直し、年度のまとめと年3回、実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	相談を受けた際には、個別に、その都度責任者が対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	5	親子参加型の行事を開催している。	今年度より、保護者会を実施している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	2	保護者向け評価表アンケート集計結果や、従業員向け自己評価表アンケート集計結果は、法人のホームページで公表している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	1	十分留意している。毎年、個人情報保護についての研修を実施している。	非常勤職員が研修を受けていないことがあるため、今後は研修を受けられるようにしていきたい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	必要が生じた際は、その都度電話で説明や報告をしたり、お迎えや送迎の際に、申し送りをするように努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	9	コロナ禍以前は、バザーなどを実施し、地域交流が行われていたが、現在は実施しておらず、地域交流の機会がない。	把握できていないだけかもしれません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	各種マニュアルは策定されており、職員には周知されているが、家族等には公示していない。必要な訓練は実施している。	家族等向けに各種マニュアルの説明を行うにあたり、方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	定期的に訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0	基本的には、医務が管理しており、必要な情報は、グループ職員に情報共有されている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	医師の指示書に基づいた対応を行っている。直接処遇職員だけでなく、厨房職員とも情報共有を行い、十分留意している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	策定された安全計画に沿い、必要な研修や訓練を実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1	地元の警察に協力していただき、交通安全講習会を実施。内容については、文書で報告。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	定期的にグループの打ち合わせの際に、読み合わせを行い、事故の再発防止に役立っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	毎年、全職員を対象に、虐待防止の研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	身体拘束の取り扱いについては、研修で共有されている。該当ケースがあれば、医師等の指示のもと対応する用意がある。		